



No.1

2006年8月24日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

9月2日に熱戦スタート! 注目の上位争い

～第31回日本ハンドボールリーグ開幕接近!～

いよいよ第3回日本ハンドボールリーグの開幕が間近に迫ってきた。参加チームは別項のとおり男子10チーム、女子6チーム。男子は1部のみの編成で2回総当たりリーグ、女子は三重花菖蒲が新たに加わり6チーム3回総当たりリーグを行い、男子上位4チーム、女子上位3チームがプレーオフ(2007年3月17、18日・東京)で優勝を争う。

年内は9月の開幕から1月上旬まで兵庫国体(10月6～10日)をはさんで毎週試合が続くハードスケジュール。12月はアジア大会、全日本総合があるためブレイク期間となり、年明けは女子が1月13日、男子は2月10日から熱戦が再開される。

男子では昨シーズンの各タイトルを分け合った大同特殊鋼と大崎電気のライバル対決に注目。両チームは7月の全日本実業団でも優勝をかけて熱い戦いを繰り広げた。有望ルーキーの加入でベテラン主体の陣容に厚みを増した湧永製薬、前回初のプレーオフ進出でさらなるランクアップを期すトヨタ紡織九州も“2強”の壁を崩そうと闘志をみなぎらせている。これにホンダ、トヨタ車体が上位争いに割って入る展開になれば、いっそう順位レースが面白くなる。戦力が手薄になったホンダ熊本は苦しい戦いが続きそう。

2部勢からの“昇格組”のうち、4年連続2部優勝の北陸電力が下位グループからの脱却を狙って意欲的。豊田合成、トヨタ自動車は上位クラスとの力の格差はいなめないが、1つでもランクアップを目指す戦いぶりに期待をつなぎたい。

女子は前回のプレーオフ決勝で広島メイプルレッズを倒したオムロンが、この全日本実業団でも危なげなく優勝を飾り、日本リーグV2への自信に満ちあふれている。対抗馬は2年連続のプレーオフ進出ですっかり上位候補として定着しているソニーセミコンダクタ九州になりそう。主軸の引退、移籍で大きく陣容が変動した広島メイプルレッズは、さすがに苦戦は必至だが、元女王の意地でどこまで両チームに食い下がるか。4年ぶりのプレーオフ進出を狙う北国銀行は、全日本実業団で3位に浮上した勢いをスタートダッシュにつなげたい。HC名古屋、新加入の三重花菖蒲は、第1週の直接対決を制して波に乗りたいたいところだ。

同じく第1週では男子が大崎電気 湧永製薬、女子はオムロン 広島メイプルレッズと上位候補の対戦が組まれており、そのほかにも上位争いに直結する好カードが目白押し。各試合とも白熱のクロスゲームが期待できそうだ。



前回のプレーオフ決勝戦から(上)大同特殊鋼・富田(下)オムロン・安心院

第1週の日程

9月2日(土)愛知・刈谷市体育館(JR東海道本線逢妻駅徒歩10分)

大阪・大阪市立住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩10分)

9月3日(日)石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)

愛知・中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)

13:00～(男) トヨタ自動車×豊田合成

15:00～(男) トヨタ車体×トヨタ紡織九州

15:00～(女) オムロン×広島メイプルレッズ

17:00～(男) 大崎電気×湧永製薬

11:00～(男) 北陸電力×ホンダ熊本

13:00～(女) 北国銀行×ソニーセミコンダクタ九州

13:00～(女) HC名古屋×三重花菖蒲

15:00～(男) 大同特殊鋼×ホンダ

“2強対決”がクローズアップ

《男子》

大同特殊鋼

前回、大崎電気とのプレーオフ決勝を39-35で制して9年ぶりのタイトル獲得。7月の全日本実業団でもライバル勢を一蹴して王座に輝き、自信と勢いに満ちあふれてのリーグ参戦だ。白、李の韓国コンビに加え、末松、武田、富田らの躍動感あふれる攻守に注目。山本、GK荻田らベテランの力も計算できる。キャプテン松林は「今年もNo.1を目指して走りきります」ときっぱり。

大崎電気

V奪回に全力を注ぐ今リーグ。積極的にクイックスタートを仕掛けるなどアップテンポに得点を量産するゲーム展開をさらに推し進める一方で、攻守のメンバーチェンジを少なくし、相手のスピードを封じていくことを新たなテーマに掲げている。守りで佐藤、永島、攻撃では豊田、猪妻の4人がキーマン役に。もちろん岩本、中川、東、宮崎ら実績組への信頼は言うまでもない。

湧永製薬

ケガ人の影響もあり、ベストメンバーが揃わない状態でのスタートを強いられることになる。そのピンチを不動の守護神・坪根や、古家、東らの実績組と小野、山中、武藤ら次代の主役が力を合わせて乗り切ることで、態勢が整うシーズン終盤まで持ちこたえられるかが焦点となりそう。7月の全日本実業団選手権（3位）で見せたような、意地、底力に期待したい。

トヨタ紡織九州

今回はプレーオフ初進出を果たし、また一步前進。それでも、チームの目標はさらに上にある。新たな壁を打ち破るために期待されるのが3年目の中畠とルーキーの泉原。ゲームメーカー石黒が抜けた穴を埋めるとともに、呉、朴、村上（秀）らとうまくからみ合せて、得点力アップに貢献できるようならば、目指す道は大きく開けてきそうだ。

ホンダ

7月の全日本実業団は、阿部、中谷ら主力の故障に苦しみながら、鶴見、柳本らを中心によく走って北陸電力、トヨタ車体を退けて5位の座をキープした。「DF主体に走る展開で勝負をかける」という荒木監督は、バックプレーヤーとしてチャレンジする野嶋、引退した羽賀のあとを受けDFの柱として飛躍を狙う河瀬を攻守のキーマンに指名、さらなる進撃を誓った。

トヨタ車体

あと一步の壁を破りきれずにいるが、着実に力をつけているのは確か。新時代の主役となる魅力いっぱいの門山を筆頭に、ケガから復帰の田中（秀）、鶴谷ら、本領発揮となれば、手がつけられないほどのパワーを見せてくれる顔ぶれもズラリと並ぶだけに、好スタートを切って流れに乗りたいたいところ。めざすは初のプレーオフ進出あるのみだ。

ホンダ熊本

藤田、米満、佐伯、櫛田、松岡と、中心選手がチームを離れ、戦力的にはいっそう苦しさを増して迎える今リーグ。厳しい戦いを強いられるのは必至だが、ケガから復活の若松やエースとして期待される3年目の大井、新守護神として注目が集まる松延らには、チームを引っ張るリーダーへと台頭するチャンス。新任の池辺監督（兼任選手）も、若い力の爆発を心待ちにしている。

北陸電力

1部制に移行した今リーグ。もちろん4年連続2部優勝の実績もあり、下位グループに甘んじるつもりはない。大黒柱となる神田の存在感は大きいものの、成長著しい左腕ヒッター桜井の多彩なシュート力に磨きがかかり、闘志あふれる落合の迫力あふれるポストプレーも見所の1つに。少数精鋭でケガなどの不安もあるが「6、7番手あたりを狙いたい」と角谷監督は照準をびたり。

豊田合成

着実に上昇カーブを描いてきたところに学生界から中村、GK大立の即戦力ルーキーが加入。中村はゲームメイクのみならず、スキあればいつでも得点を狙う動きでエース原とともにチームの先陣を切る。GKトリオの一員となった大立もガッツあふれる守護神として名乗りをあげた。日本リーグの厳しい洗礼も10代後半から20代前半で占める若いチームには飛躍への大きな糧となる。

トヨタ自動車

今回は2部リーグで1勝8敗の最下位。大きな補強もないまま迎える今リーグは、どうしても厳しく、苦しい戦いが予想される。それでも、スピードとガッツあふれる倉田や持久力豊かなルーキー岩田ら、可能性いっぱいの若いメンバーを中心に、フルにチャレンジャー精神を発揮し、浮上、躍進へとつながるキッカケをつかみたいところ。

充実のオムロン中心の展開に

《女子》

オムロン

前回リーグで女王の座に振り返り、充実感タップリ。メンバーも円熟味豊かなベテランに加え、日本の新エースとしても期待の東濱と、新旧の力がガッチリとかみ合っている。各チームからは思い切った仕掛けを受けることが予想される今リーグ。ベテランが多い分、体力面での不安は残るものの、巧みな試合運び、そして控え組の底上げで、キッチリと乗り切っていきたい。

広島メイプルレッズ

前回のプレーオフ決勝で7年間守り抜いた女王の座をオムロンに明け渡し、呉成玉、青戸、GK浅井ら5人の名手たちが抜けた全日本実業団も1勝3敗で4位とランクを下げた。さすがに厳しい戦いが予想されるが、実績充分のエース金鎮順や期待の土屋、菅野らで見せ場を作り、「あきらめずに頑張る」という林五郎監督のもとで新たな伝説の復活へ第一歩を踏み出す。

ソニーセミコンダクタ九州

2年連続のプレーオフに加え、国体で初制覇を達成、今夏の全日本実業団も2位に食い込むなど、あふれる勢いを感じさせる。通算最多得点(913点)を更新中の名手・田中、3年連続フィールド得点賞の左腕エース・郭恵静、日本代表でもセンスの良さで注目される長野、守護神・飛田らリーグ屈指のタレント陣が先陣に立ち、スピード豊かな攻守を武器に優勝戦線への突入を狙う。

北国銀行

全日本実業団で3位に浮上、上昇機運を感じさせてのリーグ参戦だ。荷川取監督がキーパーソンにあげた若松がヒザの故障で離脱したのは痛い、スピード豊かな井上、宮前ら若手の台頭でカバー。リストの強さが光るポイントゲッター上町、スケール豊かなキーピングと積極的なスローイングで進境著しいGK田代を攻守の柱に、まずは4年ぶりのプレーオフ進出へ前進あるのみ。

H C名古屋

左腕エース佐藤、2年目の守護神・近藤ら、主力選手は心技ともにさらにレベルアップ。得点力十分のロングヒッター菅谷の復帰も、チームのムードを盛り上げる明るい材料。今回は12戦全敗と、悔しいだけの結果に終わったが、新キャプテン秋山を筆頭に、セブンは意欲にあふれている。まずは1勝をマークし、そのまま勢いづいての進撃といきたいところだ。

三重花菖蒲 (MIE. violet'IRIS)

地元の企業と人に支えられて5年目を迎えたチームがいよいよ日本リーグに初見参。チームリーダー伏見をはじめ、活動を休止した日本チームから移籍したベテラン勢が中心となるが、昨年の学生日本一に輝いたアタッカー伊藤ら新戦力も加わり、フレッシュムードを漂わせて戦いに臨む。3人の子供をもつママさんプレーヤー、全日本、ドイツでプレー経験のあるGK橋本にも注目。

第30回リーグ結果

男子1部								女子1部									
順位	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	順位	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差		
①	大同特殊鋼	16	0	2	32	603	503	100	①	オムロン	10	0	2	20	357	279	78
②	大崎電気	14	0	4	28	644	529	115	②	広島メイプルレッズ	9	0	3	18	369	307	62
③	湧永製薬	12	1	5	25	513	473	40	③	ソニーセミコンダクタ九州	7	0	5	14	395	344	51
④	トヨタ紡織九州	8	0	10	16	525	544	-19	④	北国銀行	4	0	8	8	299	339	-40
⑤	ホンダ	6	1	11	13	522	544	-22	⑤	H C名古屋	0	0	12	0	242	393	-151
⑥	トヨタ車体	5	2	11	12	504	551	-47	1部男女はレギュラーシーズン順位 男子1~4位、女子1~3位の順位はプレーオフで決定								
⑦	ホンダ熊本	0	0	18	0	428	595	-167									

男子プレーオフ準決勝・大同特殊鋼	31	27	トヨタ紡織九州	25	22	湧永製薬
決勝・大同特殊鋼	39	35	大崎電気	25	22	湧永製薬
女子プレーオフ準決勝・広島メイプルレッズ	31	28	ソニーセミコンダクタ九州	28	26	広島メイプルレッズ
決勝・オムロン	32	26	広島メイプルレッズ	26	26	広島メイプルレッズ

男子2部								
順位	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	
①	北陸電力	9	0	0	18	277	196	81
②	H C東京	6	0	3	12	248	211	37
③	豊田合成	2	0	7	4	218	284	-66
④	トヨタ自動車	1	0	8	2	193	245	-52

